

鶉

飼

特4

460

074931-001-7

特42-460

[ 觀世太夫織部章句真本 ]

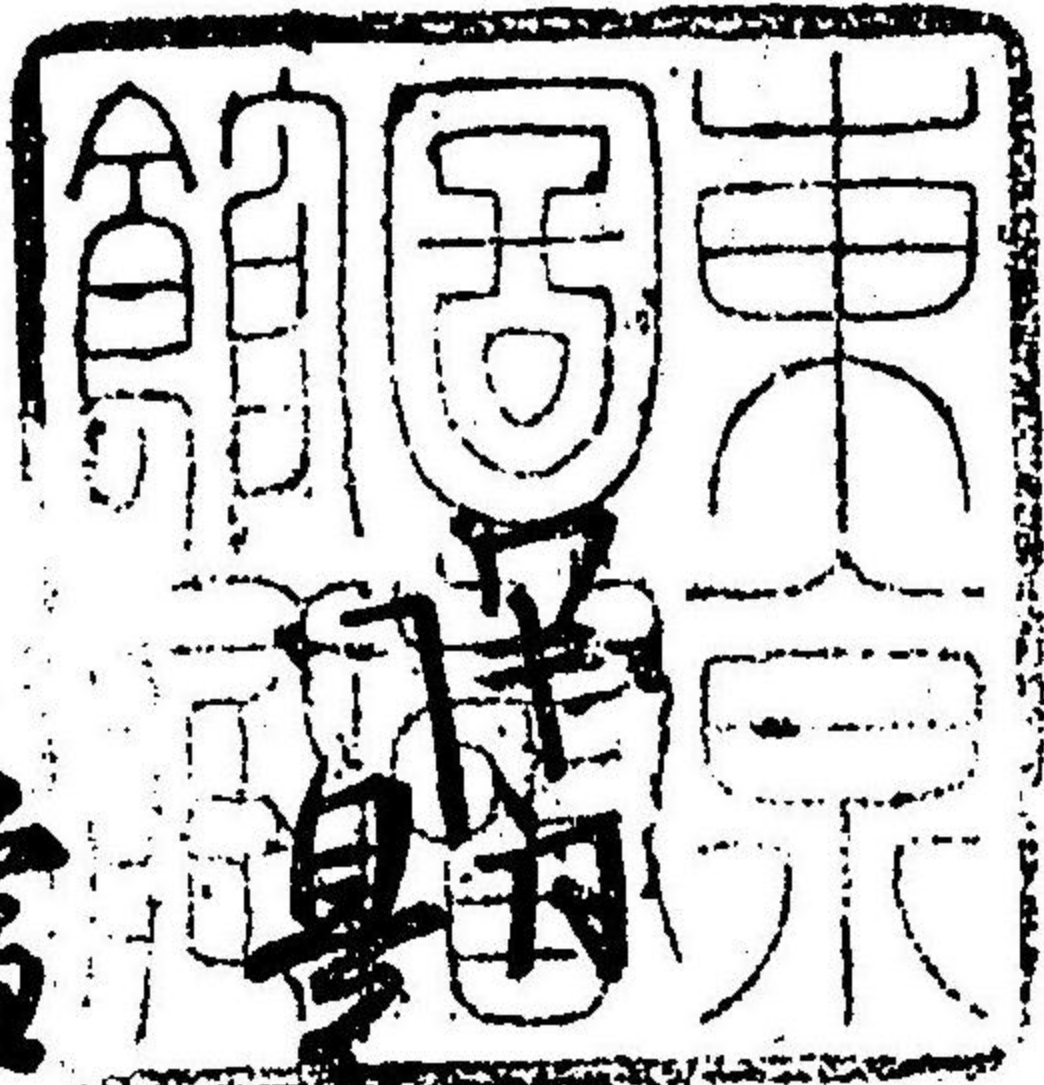
本田市次郎

M16, 17

CEL-0021



館書圖京東				
三	三	四	音	和
二	號	七	樂	書
冊		架	類	門
		函		



鶴飼

是ハ半房表ニシヨモ多クハ出テ

信之ハ我未甲斐國とカハハ行来

此度甲斐五ノ行来

いつと志ス良ノ半房ノ清也

三浦ノワケリ鍾金山 上秀 為りて

めろ様海ガくもつる言ハれ取

おとし かね かね かね  
フコトおとし かね かね かね  
かきくつらね草 蓬 鐘と松の上

まきくつらの郡の朝暮も目たきて  
カトいふまじりてつらね草

きりく 鶺鴒 舟まのり 舞火乃

なるあはれ てもいれ さい さい さい

中 夏の鶺鴒の島 白岡の

夏 行の鶺鴒の島 白岡の

す せん せん せん せん せん

月 子 響く 響く 響く

響く 響く 響く 響く 響く

かきくつらね草

まきくつらの郡

を 夜く 鶺鴒 舟まのり

借く 鶺鴒 舟まのり





今<sup>ナ</sup>の世に於ては、  
世に於ては、

成して其の如く、  
成して其の如く、

世に於ては、  
世に於ては、

成して其の如く、  
成して其の如く、

世に於ては、  
世に於ては、

成して其の如く、  
成して其の如く、

世に於ては、  
世に於ては、

成して其の如く、  
成して其の如く、

世に於ては、  
世に於ては、

成して其の如く、  
成して其の如く、

世に於ては、  
世に於ては、

成して其の如く、  
成して其の如く、

世に於ては、  
世に於ては、

成して其の如く、  
成して其の如く、

世に於ては、  
世に於ては、



横領

7年

さうぢー「志願」の打う〜あゝ鶏

もシテ白此に浪ま〜枝イロま上面白

乃あり様や座も〜毎火よ打

う〜魚さ〜ヤカま〜しよす〜しあ

さ障物〜思〜し〜射者〜カた〜もカ靴も

な〜舟も〜カた〜し〜カた〜もカ腰の

水のよ〜カた〜し〜カた〜のカ響のカ響〜玉

鳴〜し〜あ〜な〜おカ鮎カは〜カ〜カ〜カ〜

本〜よ〜の〜い〜〜思〜カた〜カ〜カ〜カ〜

あ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜

い〜思〜あ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜

鶏カ舟カのカ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜

クカのカ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜

クカ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜カ〜

7年





上三三三

出ぬし上ヤの籍入上ヤちりちり上ヤも上ヤ
  
 志の母を衆人上ヤと公可上ヤ信上ヤの上ヤ成上ヤ
  
 其瑞相上ヤのありなは上ヤ法華上ヤの利上ヤ
  
 善上ヤの上ヤ故魔障上ヤの上ヤ除上ヤけ上ヤの上ヤ
  
 すく上ヤの上ヤ為上ヤの上ヤ事上ヤの上ヤ
  
 ちりちり上ヤの上ヤ如上ヤの上ヤ如上ヤの上ヤ如上ヤの上ヤ
  
 如上ヤの上ヤ如上ヤの上ヤ如上ヤの上ヤ如上ヤの上ヤ

されり上ヤ 經上ヤと上ヤあり上ヤちり上ヤく上ヤ
  
 引上ヤれ上ヤの上ヤ教上ヤの上ヤあり上ヤちり上ヤく上ヤ
  
 三上ヤ子上ヤと上ヤく上ヤ 一上ヤ事上ヤの上ヤ獲上ヤの上ヤ
  
 稗上ヤの上ヤ事上ヤの上ヤ事上ヤの上ヤ事上ヤの上ヤ
  
 衆人の上ヤ佛上ヤ果上ヤの上ヤ事上ヤの上ヤ事上ヤの上ヤ
  
 如上ヤの上ヤ事上ヤの上ヤ事上ヤの上ヤ事上ヤの上ヤ
  
 時上ヤに上ヤ 衆人の上ヤ事上ヤの上ヤ事上ヤの上ヤ



明治十六年九月廿四日翻刻御届  
同 年十月 刻成發兌

翻刻人

京都府平民

本田市次郎

上京區第三組上白土町廿番戶



# 京都專賣書林

北村善兵衛  
風月庄左衛門  
石田忠兵衛  
町田與三吉  
佐々木總四郎  
細川清助  
辻本九兵衛  
福井孝太郎  
竹岡文助  
福井源次郎

村上勘兵衛  
辻本定次郎  
須磨勘兵衛  
遠藤平左衛門  
大谷仁兵衛  
杉本甚助  
大谷玄之助  
明田嘉七  
笹田弥兵衛  
田中治兵衛

菱澤重兵衛  
内藤彦一  
川勝徳次郎  
今井七良兵衛  
藤井淺次郎  
近藤太十郎  
澤田友五郎  
西村七兵衛  
西村九良右衛門  
永田調兵衛

